

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2021年9月29日
野村不動産株式会社

リリースカテゴリ

ロジスティクス

DX

物流に係る企業間共創プログラム「Techrum（テクラム）」

パートナー企業との連携により物流課題解決に向けた効果検証を2021年10月より開始
～ パートナー企業26社参画、荷主企業として三越伊勢丹ビジネス・サポートが協力 ～

野村不動産株式会社（本社：東京都新宿区/代表取締役社長：松尾 大作、以下当社）は、物流に係る様々な課題解決を目指す企業間共創プログラム「Techrum（テクラム）」について、2021年10月より効果検証に着手いたします。パートナー企業26社の参画により、物流の自動化（省人化・機械化）をはじめとした物流の課題解決にむけた様々な効果検証が可能になります。

まずは、荷主企業として三越伊勢丹グループの物流事業を手掛ける株式会社三越伊勢丹ビジネス・サポート（本社：東京都新宿区/代表取締役社長：斉藤 昌司）に協力いただきます。小売流通業では、テクノロジーの発展に伴う消費者の購買スタイルの進化やコロナ禍をはじめとする急激な事業環境の変化への対応に加え、人手不足が深刻化しています。そのような物流現場の様々な課題解決を目指し、物流オペレーションにおける各種機器の選定・連携の効果検証を行います。

これらの取組を経て2022年4月に「Techrum」の本格稼働、同年1月には、様々な業種の荷主企業の課題解決に対応すべく、効果検証拠点である「習志野PoC Hub」を現在の約2倍の5,290㎡へ拡張予定、2025年までに追加拠点の稼働も模索しています。

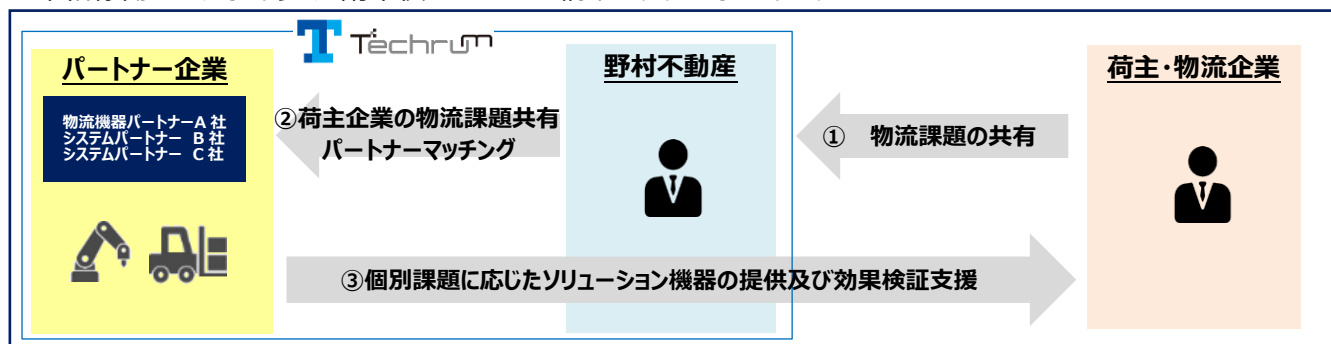
I. 物流業界を取り巻く環境変化と「Techrum」開始の背景

EC需要による戸別宅配の増加や小売り流通店舗網の複雑化によって物流需要が急激に伸長する一方、配送人員はもちろん、物流施設での商品包装・仕分け・検品などに従事する様々な人材不足が深刻化しています。足下では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により物流関連需要がさらに拡大したことも相まって、自動化（省人化・機械化）をはじめとした物流オペレーションの見直しが大きな社会課題となっています。

これまで当社を含む施設開発事業者、3PL等の配送事業者、施設内のピッキング・運搬・仕分け等に係る様々な技術・機器を有する事業者がそれぞれ課題解決に取り組んでいましたが、各業態や商材によって極めて個別具体的な解決策が求められる一方、自動化機器への投資コストが増大であること等から、なかなか最適化された物流オペレーションが実現できないという声を荷主企業から頂く事が多くありました。そこで当社は、荷主企業と機器パートナー企業が協力・連携する企業間共創プログラム「Techrum」を開始しました。当社の物流施設「Landport習志野」内に効果検証拠点「習志野PoC Hub」を設け本番環境に近い検証を可能にし、また、あえて販路や他企業との連携制限を設けない参画基準で幅広い企業の参画を促すこと等の特徴とし、これまで実現が難しかった物流課題解決を目指します。

II. 効果検証の概要について

「Techrum」には2021年9月現在、想定以上のパートナーの賛同を得て、物流に係るパートナー企業としてハードウェアからソフトウェア、人材派遣、通信、ファイナンスに至る様々な業種の企業26社が参画しています。入荷から出荷の各工程の効率性向上を目指し、各種機器の最適な選定とスムーズな連携についての効果検証を行います。また、本格稼働にむけてより多くの効果検証メニューの構築をすすめてまいります。



あしたを、つなぐ

【効果検証イメージ図】

PRESS RELEASE

Ⅲ. 「Techrum」および「習志野 PoC Hub」について

当社はこれまで高機能物流施設「Landport」シリーズに於いて、入居企業の業種（＝カテゴリー）を物件・フロア毎に特定し、一般的な汎用スペースにカテゴリー特有の機能を標準仕様として付加したカテゴリーマルチ型物流施設の開発を推進し、汎用性を超えたプラスアルファの付加価値提供を目指してまいりました。

「Techrum」はこの付加価値提供を自動化によって深化させる取り組みでもありながら、様々な荷主企業・物流企業、パートナー企業のメリットの創出を実現します。

●パートナー企業の声：王子ホールディングス(株)

日頃の営業活動の中で、自社の製品だけでは解決できない課題を抱えているお客様が多く、本取り組みでは他企業と協力してそのようなお客様の課題を解決できると考え、参画をしました。Techrumに加入している他企業との連携により、これまでにない新しいソリューションを生み出し、本拠点が物流イノベーションのハブとなることを期待しています。

●荷主企業の声：(株)三越伊勢丹ビジネス・サポート

複数のパートナー企業が参画しているため、「点」の効率化に留まらず、物流拠点全体を考えた効率化が図りやすいと感じました。また、本格導入前に実際の商品を使って各機器のトライアルができることや、机上の検討に留まらずに実際に効果検証できることも魅力に感じています。パートナー企業との共創により自社単体では気付けない部分まで踏み込んだソリューション提案を期待します。

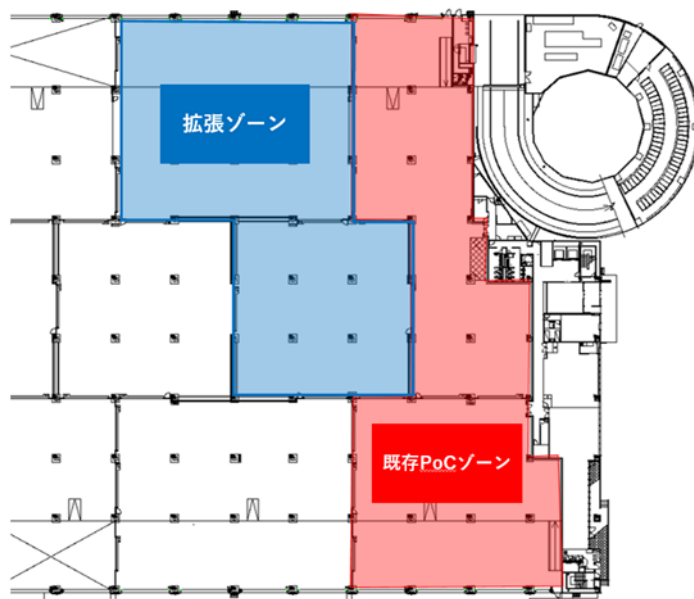
Techrumの特徴		各事業者のメリット
①	自動化機器のセールスではなく、各パートナー企業と荷主企業の課題解決に取り組む共創プログラム	課題抽出段階から各企業の知見を活用可能（荷主企業） 営業活動時間・コストの削減（パートナー企業）
②	様々な企業の技術・商品を組み合わせた各企業に対する個別具体的な解決方法を模索	単一企業の技術・商品では解決できない課題の解決、そのため の工数（手間）の低減（荷主企業・物流企業）
③	企業の技術・商品展示場ではなく、物流施設内の検証拠点として「習志野 PoC Hub」を活用	本番環境に近い事前検証が可能（荷主企業・物流企業） 開発検証コストの低減（パートナー企業）
④	企業が参画しやすいよう、他企業との連携制限をあえて設けない緩やかな参画基準	幅広いジャンルの企業と連携可能（パートナー企業）

【習志野PoC Hub概要】

所在地：千葉県習志野市茜浜3-7-2（Landport習志野 1階）

交 通：JR京葉線「新習志野」駅より約3.0km・ 東関東自動車道「谷津船橋」IC約4.0km

床面積：2,645㎡ ※2022年1月 5,290㎡へ拡張予定



あしたを、つなぐ

PRESS RELEASE

【参画パートナー企業一覧】（2021年9月29日時点：掲載許可を頂いた企業のみ） * 習志野PoC Hubに設置企業

物流作業工程	企業名	Techrumにて取組予定のソリューション機器
荷下ろし／搬送／ 保管／ピッキング	株PAL *	デパレタイズロボット、CTU（カートン搬送ユニット）、棚搬送AGV 物流センターで発生する「重いものを下ろす」「長距離を歩く」などの 苦役をロボットで代替するソリューション
荷下ろし／保管／ ピッキング／倉庫運用管理	東芝インフラシステムズ(株)	直交型荷降ろしロボット／棚搬送ロボットシステム／倉庫運用管理システム 他
開梱／製函・封緘	日本製紙ユニテック(株) *	段ボール自動開梱機・天面処理装置／高さ可変封函機
	株トーモク *	
	株なんつね *	
搬送	株千代田組 *	AGV（無人搬送）＋RFID活用による検品、棚卸
	株Doog *	
	東芝テック(株) *	
搬送	株ZMP *	AGF（無人フォークリフト）、AGV（無人搬送ロボット） RFID活用による検品、棚卸、パース連携管理システム連携
搬送	株LexxPluss	AGV（無人搬送）、AMR（自律搬送ロボット）
搬送	シンフォニアテクノロジー(株)	AGV（無人搬送）、AMR（自律搬送ロボット）
保管／ピッキング	株APT *	ケース用シャトル型自動倉庫、パレット用シャトル型自動倉庫、 無人フォークリフト型AGV、保管・ピッキング効率化AGV
保管／ピッキング／ 製函・封緘／その他	株寺岡精工 *	採寸計量器 （出荷作業効率化・物流コスト最適化をサポートする、梱包物の自動採寸計量スケール） 自動仕分け機
	王子ホールディングス(株) *	（採寸計量器の測定結果を元に、梱包物をサイズ・重さ・運送会社・行先方面別で自動仕分け） 3辺可変セミオートシステム （オーダーメイド段ボール加工機）
ピッキング	株オフィスエフエイ・コム	マスターレス・ピースピッキングロボット、多機能型AMR
ピッキング	シリウスジャパン(株)	ピッキングアシストAMR
ピッキング	ラピュタロボティクス(株)	ピッキングアシストAMR、クラウドロボティクス・プラットフォーム
ピッキング／仕分け／ 封緘／その他	株タクテック	ピッキング歩行距離最小化シミュレーションシステム、マルチピックカート、 GAS（仕分け兼検品）、ランダム封函＋送り状貼り付け
搬送／仕分け	オークラ輸送機(株)	コンベヤ、ソーター
その他	日本フルハーブ(株)	自動荷役に向けたトラックボディの研究開発
その他	株ロジスジャパン *	大型シーリングファン、AMR、AGV
その他	東日本電信電話(株)	各種IoT機器によるデータ連携・計測、各種通信機器を活用したネットワーク連携
その他	株エクサウィザーズ	AI技術を用いた不定形物の認識、制御ロボットAIやエッジ型のAIカメラの開発・実装
その他	株ブライセン	クラウド型倉庫管理システム
その他	東京センチュリー(株)	デジタル技術を活用したアセットソリューションでの連携

【公式ホームページ】



<https://www.nomura-landport.com/techrum/>

あしたを、つなぐ

